

令和元年度執行事務事業

施策名	基本事業	番号	事務事業名
スポーツツーリズムの推進	クリケットタウン佐野の推進	1	クリケットのまち推進事業
		2	「クリケットタウン佐野」創造プロジェクト事業

事務事業名		クリケットのまち推進事業				評価区分(事前評価・事後評価)		事後評価(A・B表)		
政策体系	基本目標	2 新たな流れの創造による賑わうまちづくり				担当組織	担当部	観光スポーツ	担当課	スポーツ立市推進課
	政策	2 スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり				担当係	スポーツ立市推進係	担当課長名	村山 和之	
	施策	1 スポーツツーリズムの推進				新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	3 クリケットタウン佐野の推進				実施計画事業・一般事業		実施計画事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名				
	15080	一般	10	5	1	クリケットのまち推進事業				
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	H28年度～ 年度		根拠法令 条例等	第2次佐野市スポーツ立市推進基本計画				
							市単独事業・国県補助事業		市単独事業	
						任意的事業・義務的事業		任意的事業		
						実施方法		一部委託		
						事業分類		広報・広聴・啓発事業		
						リーディングプロジェクト		該当		
						市長市政公約		2-③-1		

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)		令和元年度実績(令和元年度に行った主な活動内容)				
世界的なクリケット名門クラブ マリルボーンクリケットクラブ(MCC)や国際クリケット評議会(ICC)から、専門家の派遣を受け、主に市内小学校児童を対象にした英語を使ったクリケット体験会、一般市民に向けたイベントの中で指導者講習会や体験会等を実施する。 これにより、クリケットによるまちづくりについて広く市民の理解を得るとともに、クリケットで訪れる諸外国人の人々を受け入れる意識の醸成、いわゆるスポーツを支える意識を高めることを目的とする。		・派遣元クラブとの間で、例年同様のスケジュールでは事前調整が整わず継続協議していたところ、10月12日の台風19号被災により事業を見送った。				
活動指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
派遣のあったアドバイザー人数	人	1	1	0	0	1
体験会等の延べ実施回数	回	28	40	0	0	36
期間中の延べ参加者	人	1,174	1,120	0	0	1,400

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

①市人口 ②市内小学校児童数	対象指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
	市人口	人	120,018	119,348	118,450	117,706	
	市内小学校児童数	人	5,797	5,731	5,645	5,506	

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

①クリケットに触れてもらう、体験してもらう。	成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)
	各学校でのクリケット教室参加児童数/児童数	%	10.6	7.0	0.0	0.0	#DIV/0!

④ 結果(どのような結果に結びつけますか?)

スポーツツーリズムによるまちづくりについて理解し賛同している。	上位成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)
	スポーツツーリズムを推進する組織の設置	組織	1	1	1	1	1

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	H29年度(実績)		H30年度(実績)		R1年度(実績)		R2年度(目標)		R3年度(目標)	
	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円										
	一般財源	千円	498		498		0		0		0	
	事業費計(A)	千円	498		498		0		0		0	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			委託料	498	委託料	498						
	人件費	人	1		1		1					
のべ業務時間	時間	30		30		30						
人件費計(B)	千円	114		114		114		0		0		
トータルコスト(A)+(B)	千円	612		612		114		0		0		

事務事業名	クリケットのまち推進事業	担当部	観光スポーツ	担当課	スポーツ立市推進課	担当係	スポーツ立市推進係
-------	--------------	-----	--------	-----	-----------	-----	-----------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	平成26年・27年に実施した訪英団の成果として、国際クリケット評議会、マリルボーンクリケットクラブの両者とクリケットを通じた友好親善、相互理解の促進を図る合意書を締結したことから。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	東京都昭島市、千葉県山武市がクリケットに高い関心を持って普及活動を行っており、クリケットの先進地を競い合っている。また、「観光立国推進基本計画」や「スポーツ立国戦略」の推進強化と東京オリンピック・パラリンピック等の大きなスポーツ大会が続くことから、会場誘致等の自治体間の競争が激しくなっている。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	スポーツツーリズム推進基本計画のパブリックコメントにおいて、クリケットのまちとしてクリケットを普及すること、ツーリズムを進めることに肯定的な意見が多数(43通)寄せられる。(48人のコメント中)

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
事業統合・連携	クリケットタウン創造プロジェクトと連携し、裾野をより広げた事業として実施する。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	クリケットによるまちづくりを進めている本市にとって、クリケットを介しての交流人口の増加やスポーツツーリズムを推進することは、本市のリーディングプロジェクトに十分結びつく。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	国際クリケット評議会、マリルボーンクリケットクラブと協定を締結した当事者である佐野市が、この責任を果たす形で事業を実施する必要がある。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	クリケットによるまちづくりを進めている本市にとって、市内でのクリケット普及をすることは大変重要なことであり、そのことからすると対象と意図は妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がかなりある	理由・改善案	クリケットによるまちづくりを進めている本市にとって、市内でのクリケット普及をすることは大変重要なことであり、そのことからすると対象と意図は妥当である。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業があり統合・連携できる・している	理由・改善案	類似事務事業名 「クリケットタウン佐野」創造プロジェクト事業 統合はできないが、連携すべき事業ではある。
	* 類似事務事業があれば、名称を記入			
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	招へい選手の渡航費、滞在費が主なものであり、滞在費などはホテル利用ではなくクリケット関係者宅へのホームステイなどで対応しており、これ以上の経費削減は現実的ではない。
公平性 評価	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求める必要がない	理由・改善案	本事業の対象者は小学生をはじめとした市内市民全員が対象となるので、受益者負担を求める必要はない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)			
	民間による海外とのクリケット関係の交流が進んで来れば、市としての事業は終了できる。			

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
事業のやり方改善(成果向上の見直し) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。) 体験会等の開催が、小学校を中心としているが、これを社会人チームなどに広げることで市民の多くの方の理解を得ることが可能となる。	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下		×	×	
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上		○																						
	維持			×																					
	低下		×	×																					

事務事業名		「クリケットタウン佐野」創造プロジェクト事業					評価区分(事前評価・事後評価)		事後評価(A・B表)		
政策体系	基本目標	2 新たな流れの創造による賑わうまちづくり					担当組織	担当部	観光スポーツ部	担当課	スポーツ立市推進課
	政策	2 スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり					担当係	担当係	スポーツ立市推進係	担当課長名	村山 和之
	施策	1 スポーツツーリズムの推進					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	3 クリケットタウン佐野の推進					実施計画事業・一般事業		実施計画事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	15082	一般	10	5	1	「クリケットタウン佐野」創造プロジェクト事業					
	事業区分						市単独事業・国県補助事業		国県補助事業		
事業計画	期間限定複数年度	事業期間	H29年度～R2年度		根拠法令 条例等	第2次佐野市スポーツ立市推進基本計画					
	事業区分						任意的事業・義務的事業		任意的事業		
	事業区分						実施方法		一部委託		
事業区分						事業分類		その他直接サービス提供事業			
事業区分						リーディングプロジェクト		該当			
事業区分						市長市政公約		2-③-1			

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)		令和元年度実績(令和元年度に行った主な活動内容)					
<p>【プロジェクト概要】</p> <p>・「クリケット」をまちづくりの核とし、国内のみならず、海外からインバウンド誘客を図り、その集客波及効果等により地域経済を活性化させ、地域の稼ぐ力を高めていく。</p> <p>・本事業は、民間公募による事業推進主体(マネージャー)が実施する。市は、マネージャーに関する固定費(人件費、事務所経費)等を負担するとともに、予算の範囲において、クリケットのブランディング、国際クリケット場への誘客策の計画・実施をマネージャーと連携して実施する。</p>		<p>・マネージャーへの補助金交付(「クリケットタウン佐野」創造プロジェクト推進事業補助金)</p> <p>・旧田沼高校再生事業(都市計画法関係・校舎リノベーション検討)</p> <p>・PRイベント(インフィオラター・二子玉川ライズほか)実施及びPR冊子制作</p> <p>・インド誘客促進事業(ムンバイプレスカンファレンス、旅行会社営業等)</p> <p>・ポーリングマシン導入</p> <p>・視察受け入れ対応</p>					
活動指標		単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
プロモーションの実施		事業	1	2	4	4	
運営主体人材選考		人	1	-	-	-	-
各種調査		件	2	-	2	-	-

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

関東地方及び近県住民 (1都6県+山形県+福島県+新潟県+富山県)		対象指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
		関東地方及び近県の人口 (総務省:1/1住基台帳)	人	49,696	47,599	43,464	49,696	

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

目的		佐野市国際クリケット場に来場者が来る						
成果指標		単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)	
クリケット場来場者		人	3,233	6,677	10,498	8,000		

④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)

本プロジェクトの実施効果、経済効果等が市全体に広がる。		上位成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)
		プロジェクトを推進する組織の設置	組織	1	1	1	1	

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	H29年度(実績)		H30年度(実績)		R1年度(実績)		R2年度(目標)		R3年度(目標)	
	国庫支出金	千円	25,908		32,456		49,454		56,486			
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円										
	一般財源	千円	10,202		32,456		49,455		56,486			
	事業費計(A)	千円	36,110		64,912		98,909		112,972		0	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			報償費	990	補助金	64,912	補助金	98,909	委託料	112,972		
			旅費	292								
委託料			34,807									
使用料及び賃借料			21									
人件費	正規職員従事人数 のべ業務時間	人 時間	2 1,800		2 1,800		2 1,800		2 1,800			
人件費計(B)	千円	6,869		6,869		6,867		6,869		0		
トータルコスト(A)+(B)	千円	42,979		71,781		105,776		119,841		0		

事務事業名	「クリケットタウン佐野」創造プロジェクト事業	担当部	観光スポーツ部	担当課	スポーツ立市推進課	担当係	スポーツ立市推進係
-------	------------------------	-----	---------	-----	-----------	-----	-----------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	国の重要施策である地方創生(地域の稼ぐ力の向上)の推進を目的に、これまで取り組んできたクリケットによるまちづくりをさらに深化させるため、平成28年度地方創生推進交付金の応募に応じ計画した。平成28年度には、事業にかかる検討・調査を行い、平成29年度から本格的な事業展開を図っている。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	平成26年12月にまち・ひと・しごと創生法が公布され、これに基づくまち・ひと・しごと創生総合戦略が策定された。ここでは、人口減少の日本においても活力を維持していくためには、人口減少克服と地方創生が重要と位置付けられた。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
事業のやり方改善(コストの見直し)	

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	本事業では、国際クリケット場を拠点とし、当地での練習合宿、国内・国際大会を開催することで、クリケットプレーヤー、観戦者を誘致することが主目的であり、「スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり」に直結するものである。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	委ねられる・委ねられる可能性がある	理由・改善案	本事業の推進主体は、民間公募によるエージェントであり最終的な目標は、本事業の自立化(自走:市の財政的支援なしでの事業推進)としている。ただし、クリケットによる誘客を増加させるには時間を要するため、当分の間は、市費による事業実施を行う。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	地域の稼ぐ力を向上させることが最終的な目的であるが、まず、そのために必要となる人の流れを創出することが本事業の目的でもある。このことから、対象・意図は妥当と考える。
	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がある程度ある	理由・改善案	
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？		類似事務事業名	クリケットのまち推進事業
有効性 評価		理由・改善案	類似事業では、市内児童向けにクリケットの普及啓発を実施しており、本市がクリケットに関する事業を積極的に実施していることが周知され、本事業の目指すクリケットタウン(クリケットの聖地)の創造に向け一役かっており、連携したものとなっている。	
	* 類似事務事業があれば、名称を記入			
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	事業企画段階から直営ではなく、事業の効果、効率性、コストを意識した事業推進を図るため、民間人材の登用を計画した。また、本事業では事業費の削減は目的でなく、地方創生推進交付金で認められた予算を最大限有効に活用し、クリケットのブランディング、プロモーションを積極的に図っていく必要がある。
公平性 評価	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？ 事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求める必要がない	理由・改善案	地方創生推進のため実施する事業(プロモーション、合宿・大会誘致活動)であり、サービスを受けるなどの受益者自体が存在しない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)			原則として、地方創生推進交付金の終了期(令和2年度)をもって事業の自立を目指すことから、市としての事業はそのときに終了となる。

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
事業のやり方改善(成果向上の見直し)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																								
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上	○			維持			×	低下		×	×	
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上	○																							
	維持			×																					
	低下		×	×																					